

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

- 昭和 26 年 6 月 愛知県より菊武タイピスト学校（現：菊武ビジネス専門学校）設置認可
- 昭和 28 年 2 月 愛知県より学校法人高木学園（現：菊武学園）設立認可
- 昭和 37 年 4 月 守山女子商業高等学校（現：菊華高等学校）開設
- 昭和 40 年 4 月 名古屋女子商科短期大学（現：名古屋経営短期大学）開設
- 昭和 43 年 4 月 守山女子商業高等学校に通信制課程開設
- 昭和 44 年 4 月 菊武幼稚園開設
- 昭和 63 年 4 月 名古屋女子商科短期大学に経営情報科開設
- 平成 4 年 4 月 守山女子商業高等学校を菊華高等学校と改称し、全日制課程普通科開設。
- 平成 7 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンス開設
- 平成 12 年 4 月 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部開設
- 平成 16 年 4 月 名古屋産業大学大学院前期（修士）課程（環境マネジメント研究科）開設
名古屋産業大学環境情報ビジネス学部人間環境マネジメント学科増設
- 平成 19 年 4 月 名古屋経営短期大学ビジネス実務学科・人間情報学科の募集を停止し、2 学科を統合した形の総合ビジネス学科を開設。
名古屋産業大学大学院後期（博士）課程（環境マネジメント研究科）開設。
名古屋経営短期大学子ども学科開設。
- 平成 20 年 4 月 名古屋経営短期大学健康福祉学科開設。
- 平成 23 年 4 月 稲葉保育園開設、菊華高等学校にスポーツアクトコース開設
- 平成 24 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンスの校名を変更
専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院に改称する。
- 平成 26 年 4 月 名古屋経営短期大学総合ビジネス学科の募集を停止し、未来キャリア学科開設。
- 平成 27 年 2 月 菊華高校通信制課程普通科（単位制）開設認可
- 平成 29 年 4 月 名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部を現代ビジネス学部へ改称
- 平成 31 年 3 月 名古屋産業大学現代ビジネス学部へ経営専門職学科設置認可申請

2. 設置する学校の学部、学科および各学校の入学定員、現員数

平成 30 年 5 月 1 日現在

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
名古屋産業大学大学院	環境マネジメント研究科	前期課程 10 人	20 人	5 人	6 人
	環境マネジメント専攻	後期課程 3 人	9 人	1 人	4 人
名古屋産業大学	現代ビジネス学部				
	現代ビジネス学科	190 人	770 人	145 人	493 人
名古屋経営短期大学	未来キャリア学科	100 人	200 人	82 人	152 人
	子ども学科	80 人	240 人	33 人	102 人
	健康福祉学科	60 人	120 人	34 人	59 人

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
菊華高等学校	全日制課程情報ビジネス科	270人	810人	44人	157人
	全日制課程普通科	90人	270人	248人	689人
	通信制課程商業科	150人	450人	120人	419人
	通信制課程普通科(単位制)	80人	240人	13人	40人
菊武幼稚園		69人	209人	70人	215人
菊武ビジネス専門学校	商業実務専門課程	80人	80人	7人	7人
	商業実務高等課程	240人	720人	120人	419人
専門学校名古屋リエンジニア &フラワー・ビューティ学院	商業実務専門課程	160人	280人	122人	258人
	文化教養専門課程	40人	80人	28人	45人
合 計		1,622人	4,498人	1,072人	3,065人

3. 役員に関する事項

当学園の平成31年3月31日現在の選任区分別理事及び監事は以下のとおりです。

寄附行為の理事定数は8~11人、監事定数は2~3人で、欠員はありません。

- 1号理事（教職員）：高木 弘恵、山岸 鳴門、鈴木 悦子
 2号理事（評議員）：渡邊 哲郎、山口 淳
 3号理事（学識経験者）：井元 明正、吉田 雅樹、岡谷 篤一、高木 清秀、伊藤 雅一
 監 事：青木 修（常勤）、那須 國宏（非常勤）、澤田 忠男（非常勤）

平成30年3月23日の評議員会で、3号評議員であり2号理事でもあった井元 明正氏が任期満了により3号評議員を退任されたことに伴い、2号理事として山口 淳氏が選任されましたので、評議員会の後で開催された理事会において井元 明正氏は、3号理事に選任されています。

4. 評議員に関する事項

当学園の平成31年3月31日までの選任区分別評議員は以下のとおりです。

寄附行為の評議員定数は、19~24人で、欠員はありません。

- 1号評議員（法人職員）：高木清秀、山口 淳、石原 靖章、内山哲治
 水野武文、杉村邦彦、神谷 篤、天野雪代
 2号評議員（学園卒業者）：浅井明己、大石清美
 3号評議員（学識経験者）：高木重幸、池田英二、竹内隆史 平本晴康、渡邊哲郎、
 高木秀典、高木弘恵、原田隆史、大嶋啓介、市橋 豊、
 杉山寿美、中川信子、志水暎子、須崎 徳之

但し、平成31年3月22日の理事会で、1号評議員の天野 雪代氏が平成31年3月31日付けで尾張旭市立稲葉保育園の園長を退任されることに伴い、後任に豊田 久美子氏（同年4月1日付で同保育園園長に就任予定）が1号評議員に推薦され、1号評議員の水野 武文氏（名古屋産業大学・名古屋経営短期大学事務局長）が平成31年3月31日付で退職されることに伴い、後任に松原 伸一氏（同年4月1日付で名古屋産業大学・名古屋経営短期大学事務局長に就任予定）が1号評議員に推薦されており、令和元年5月の評議員会で選任される予定です。

5. 教職員・その他に関する事項

平成 31 年 3 月 31 日をもって、名古屋経営短期大学学長の高木 弘恵氏の任期が満了となりますが、平成 31 年 1 月 24 日に開催された学長選考委員会において次期学長候補者として高木 弘恵氏が選考され、平成 31 年 3 月 22 日開催の評議員会・理事会で再任が決議されました。

II. 事業の概要

1. 平成 30 年度の入学者数

平成 30 年度の入学者数は、大学が大学院も含めて 151 名、短大が 149 名、高校（全日制・通信制）が 415 名、幼稚園が 70 名、菊武ビジネス専門学校が 127 名、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院が 150 名で学園全体の入学者数は、1,062 名となりました。

平成 30 年 4 月の在籍者数は、大学が 503 名、短大が 313 名、高校（全日制・通信制）が 1,306 名、幼稚園が 215 名、菊武ビジネス専門学校が 427 名、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院が 303 名となり、学園全体の在学生総数は前年度より 124 名少ない 3,067 名となりました。

2. 平成 30 年度のその他の事業概要

【学園本部】

30 年度は、70 周年の記念行事をメインに菊武夏祭りと同例年例月の学園研修を実施しました。

4 月：「30 年度の学園の教育・運営方針と新年度の目標値説明、各部門の新年度の重点取組み」

6 月：スポーツ交流「ストレッチヨガとソフトバレーボール大会」

8 月：「菊武夏まつり」、

9 月：「発達障害のいまを知ろう」の講演（名古屋産業大学 栗野 理恵子准教授）

11 月：菊武学園創立 70 周年を祝う記念式典と海外交流 50 周年を祝う会

1 月：70 周年記念講演会～大阿闍梨、塩沼亮潤住職の講演と賀詞交歓～

「極限の世界で見つけた人生の歩み方と教育」

3 月：「菊武学園懇親会」

【名古屋産業大学】

大学ではビジネストレーニングプログラムを中心とした実践的な教育を展開し、学生一人一人の個性にあったキャリア支援を行いました。

また、私立大学等改革総合支援事業に採択され、学生ホールを「ラーニングcommons」に、学生食堂を「スチューデントcommons」として大幅リニューアルし、学習環境をより充実したものとしました。

地域連携もさらに強化し、グリーンシティケーブルテレビと連携した市民向けの「MEISANDAI 講座」を心理、エクササイズ、自然環境などバラエティに富んだ内容で開講しました。

主な行事

- 4月：入学式、学外オリエンテーション、スポーツ大会
- 6月：田んぼアート（JA,尾張旭市と連携、学園姉妹校参加）
- 9月：四短教職員合同 FD/SD 開催
- 10月：大学祭、インターンシップ合同報告会
- 11月：教育懇談会
- 12月：四短合同 KIKUTAKE ルミナ、環境フォーラム
- 1月：卒業研究発表会
- 3月：学内合同企業説明会、学位記授与式、MEISANDAI 講座（GCTV）、四短合同東北ボランティア

課外活動

<ウエイトリフティング部>

- ・山本真鼓選手（4年）が、4月28日に大阪で行われた全日本女子学生ウエイトリフティング選手権 63キログ級で、トータル202kgの自己ベストの大会新を樹立し、3年連続優勝達成。同選手は2019年3月7日の全日本学生ウエイトリフティング選手権 64キログ級でも大学新記録を樹立し優勝。卒業後は本学大学院に進学し、2020年東京五輪出場を目指します。

<ボウリング部>

- ・照山莉央選手（3年）が2月14～16日にかけて京都で開催された「第50回全日本大学個人ボウリング選手権大会」で優勝しました。

主な就職先

瀬戸信用金庫、半田信用金庫、LEGOLAND Japan（株）、グリーンシティケーブルテレビ（株）、住友不動産販売（株）、（株）わかさ生活、防衛省陸上自衛隊、七尾市（消防職）など

【名古屋経営短期大学】

短大では3学科それぞれが特徴を活かし、実践的な教育活動を行いました。地域社会と連携した講義も多く実施され、地域の祭りや保育園の運動会、医療・介護施設でのボランティア活動などの場における福祉活動を通じて自己を成長させ、学生一人一人のキャリア形成につなげています。

主な行事

- 4月：入学式、新入生宿泊オリエンテーション、尾張旭市健康フェスタへの参加
- 5月：スポーツ大会、学内合同福祉説明会

- 9月：四短教職員合同 FD/SD 開催
10月：大学祭
11月：介護の日イベント、教育懇談会、紅茶フェスティバルへの参加
12月：四短合同 KIKUTAKE ルミナ、子ども学科クリスマス会
3月：学内合同企業説明会、学位記授与式、四短合同東北ボランティア、
多文化保育演習（台湾）

主な就職先

(株)トヨタカローラ名古屋、(株)スタジオアリス、イオンリテール(株)、飯田信用金庫
(株)トヨタレンタリース愛知、尾張旭市（保育職）など

【菊華高等学校】

平成30年度は、学園の建学の精神である「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を実現するため、本校校訓の「誠実・創造・健康」を日々の学校生活の中で実践的に指導し、自ら学び考え、正しい判断の基に行動できる豊かな人間性と心身ともに健康な生徒の育成に努め、生徒一人ひとりが持つ能力・適正・興味・関心を十分に把握して個人の能力を伸ばし、教職員が生活面の指導と教科面の学力向上に一致団結して取り組みました。そして生徒の力を最大限、引き出すことに全力であたり、どのような逆境にも負けない精神力と社会貢献ができる人材を育て、全ての生徒と保護者が満足する教育に邁進しました。

重点取組

- 学力向上を目指し生徒には明確な目的意識を持たせ意欲的に学習に取り組ませて、教職員は授業改革と授業力向上に努め、教職員研修や勉強会などを充実し、各教科を中心に生徒に対して「わかる・できる喜び・学ぶ楽しさ」を感じさせる生徒主体の授業づくりに取り組みました。
- 生徒指導は、生徒一人ひとりの存在をかけがえのないものとして大切にするとともに、教職員と生徒が相互に人として尊重し合い共感的に理解し合う人間関係を築き、生徒の良い点を認め、それを評価することにより生徒に自信とやる気を持たせ積極的に学校生活を送れるように支援をしてきました。
- 生徒募集に関して教職員全員が渉外部員となり、科とコースの魅力を PR できる知識を熟知し、誰にでも自信を持って説明し、機会があるごとに募集活動に繋げてきました。また、生徒・保護者が広告塔と思い厳しくも楽しい学校生活において生徒の目標に向け最大限のサポートを行い様々な手段を用いて広報活動をしました。
- 転・退学率について前年度よりはかなり下がりました。これは長期欠席者検討委員会を立ち上げ、不登校生徒を多くの教職員で早期に確認して生徒の行動や普段の行動を注意深く観察し、家庭の問題や生徒間のトラブルなどを察知し外部カウンセラーの協力のもと不登校を未然に防ぎ、欠席の初期でのきめ細かい指導や説得をして転・退学率を下げました。

主な学校行事

- 4月 1年生校外オリエンテーション合宿（車山高原）、交通安全講習、携帯・スマホ安全利用講習
- 5月 PTA 総会、後援会総会、国際交流（台湾建台高校生徒来校）、1年保育・福祉コース保育園実習
- 6月 PTA 研修会（京都）
- 7月 保護者会、2年姉妹校訪問
- 8月 中学生対象「夏の学校体験会」、中学生将棋選手権大会
- 9月 学校祭（体育祭・文化祭）
- 10月 中学生対象「秋の学校体験会」
- 11月 2年修学旅行（沖縄）、1・2年遠足、中学生対象学校説明会
- 12月 保護者会、3年情報ビジネス科テーブルマナー（マリOTT）、中学生対象学校説明会
- 1月 3年スポーツクラス スキー合宿（車山高原）、3年アクトクラス卒業公演（守山文化小劇場）
- 2月 3年生を送る会、1・2年生アクトクラス生徒オーディション、3年保育・福祉コース卒業研修

課外活動

- 4月 （ソフトテニス女子） 高校総体予選名古屋北地区 優勝 団体・個人9ペア県大会出場
（陸上） 3名 県大会出場
- 5月 （ボクシング） 2名 東海大会出場
- 5月 （ソフトテニス女子） 高校総体 県大会 団体3位 個人1ペア東海大会出場
- 6月 （自転車） 1名 東海大会出場
- 7月 （ボクシング） 1名 国体出場
- 8月 （ダンス） 全日本高校ダンス大会 出場 入賞
（ボクシング） 2名 インターハイ出場
（ソフトボール） 名古屋市選手権大会 3位
- 9月 （野球） 秋季大会 県大会出場
（サッカー） 全国高校サッカー選手権大会 県大会出場
（ソフトテニス女子） 新人大会 名古屋北地区 団体 優勝 個人6ペア 県大会出場
（陸上） 新人大会 3種目 県大会出場
- 10月 （ソフトテニス女子） 新人大会 県大会準優勝 東海大会出場
（ボクシング） 新人大会 2名 東海大会出場
（ダンス） 尾張旭市民祭り出演
（箏曲） 私学連合音楽会出演
- 11月 （ダンス） 守山自衛隊祭り出演
- 12月 （ダンス） 自主公演
- 1月 （箏曲） 愛知県高等学校文化連盟演奏会出演 優秀賞 アネット芸術賞
- 2月 （野球部） 国府宮はだか祭 奉納餅つきに参加
（ダンス） 国府宮はだか祭 奉納餅区内パレードに参加
- 3月 （箏曲部） 「旭労災病院」他、多数の福祉施設で公演

【菊武ビジネス専門学校】

30年度は「資格取得の菊武」をテーマに、生徒一人一人に合った目標を設定し、各種検定の合格率向上に取り組みました。また、職業教育に重点を置いた教育活動、特に、挨拶・時間・みだしなみ・言葉づかい・姿勢の基本的な生活習慣を身に付けさせる取り組みをしました。

重点取組

1. 入学者の確保を目的に、地域から愛される学校を目指し、学校周辺清掃活動や文化のみちイベント参加など、ボランティア活動を通して、地域の方々との触れ合いを大切に、地域貢献に力を入れました。
2. 就職力の強化として、継続した企業訪問による優良企業の求人票確保に努めました。
3. わかる授業で基礎力の定着を図り、検定基礎級の合格者を増やしました。
4. 早い段階での家庭訪問、保護者懇談等を実施し、中途退学率の低率化に取り組み、成果を上げました。

主な学校行事

- 4月：携帯・スマホ安全教室、3年生進路オリエンテーション
- 5月：1年生オリエンテーション合宿（郡上八幡自然園）、2・3年生校外学習（長島スパーランド）、専門課程オリエンテーション合宿、避難訓練、PTA総会
- 6月：専門課程准教員資格取得講習会、PTA姉妹校訪問、PTA委員会
- 7月：映画鑑賞会、保護者懇談会、専門課程特別教養講座（金融講座、陶芸体験）、パソコン入力スピードコンテスト、高岳児童館まつりボランティア
- 8月：東北ボランティア、サマーキャンプ（あいち県民の森）
- 9月：東区防災訓練ボランティア、就職激励会
- 10月：高等専修学校展参加、文化祭、なごやかまつりひがしボランティア
- 11月：体育祭、文化のみちイベント、赤い羽根街頭募金ボランティア、2年生修学旅行（北九州）
- 12月：3年生京都旅行、1年生校外学習（名古屋科学館）、専門課程神戸旅行、スノーボードスクール（斑尾高原スキー場）、芸術鑑賞会
- 2月：愛知県ワープロ競技新人大会、卒業生を送る会
- 3月：高等課程・専門課程卒業式、1・2年生視聴覚講座、PTA委員会

【専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院】

30年度も「美力向上」をテーマに以下の4項目に取り組みました。

- 1) 学生収容数値目標 180名（B科100名 F科50名 TB科30名）
- 2) 学校モットーの明確な打ち出し 「誰かの笑顔が、私の幸せ」
- 3) 他校との差別化 B科F科「歴史」
- 4) 退学率の低下 目標値 3.0%

主な学校行事・教育活動

- 4月：新年度教職員全体会議、校内企業説明会（ブレスエット・ロゼ）、
グリーンデザイン（星ヶ丘テラス/花壇植え込み）、業界研究（ホテルウェディング式場見学）
ガーデニング（ポートメッセなごや/E&G フェア ウェルカムガーデン設営）等
- 5月：業界研究（式場見学とフレンチマナー研修）、園芸実習（名港花き地方卸市場見学）等
- 6月：造園実習、業界研究、模擬結婚式（3施設）、サービス接客検定等
- 7月：造園実習、模擬結婚式、造園検定試験、パーソナルカラー検定、フラワー装飾試験等
- 8月：模擬結婚式
- 9月：造園実習、ウェディングケーキ実習、ショップ実習（資材メーカー「東京堂」見学）等
- 10月：総合講座（仏式式学習/名古屋別院）、ランドスケープデザイン（名古屋城・フラリエ）、
ガーデニング（花フェスタ記念公園見学）、校内模擬結婚式2回、文化祭、
校内フラワーショップ（12月まで営業）等
- 11月：技能五輪（沖縄県）フラワー装飾部門に出場 原柚子さん銀賞受賞、
総合講座（神前式学習/熱田神宮）、ガーデニング（京都/日本庭園見学）等
- 12月：卒業研修旅行（ハワイ、ロサンゼルス、沖縄）、ブライダル研修（八ヶ岳リゾートナーレ）、
本物の結婚式（1回目/第二富士ホテル）、トータルビューティサロン運営、
パーソナルカラー検定等
- 1月：ブライダルコーディネーター検定、ガーデニング（名古屋市役所花壇デザイン）、
- 2月：卒業作品展（ナディアパーク）、本物の結婚式（2回目/第二富士ホテル）模擬結婚式2回等

【菊武幼稚園】

「徳育・体育・知育」の3つを軸に「仲良く遊ぶ子、心も体も強い子、よく見よく聞く考える子」ひいては「自信を持って小学校に進学できる子」を育てるため、〈感動ある行事の実現〉に取り組みました。

主な学校行事(平成30年度)

- 4月：なかよし会、4月生まれ誕生会
- 5月：こどもの日の集い、歯科検診、春の親子遠足(落合公園)、年長防煙教室、
5月生まれ誕生会、内科検診
- 6月：避難訓練、起震車体験、交通安全指導、6月生まれ誕生会
- 7月：七夕参観、お楽しみ会、7月生まれ誕生会
- 8月：夏期特別保育、8月生まれ誕生会、菊武夏まつり参加
- 9月：避難訓練、保育参観、9月生まれ誕生会
- 10月：運動会、秋の遠足(朝宮公園)、10月生まれ誕生会、春日井まつりパレード、
幼年消防クラブ発表
- 11月：芋ほり、交通安全指導、11月生まれ誕生会

- 12月：生活発表会、クリスマス会、12月生まれ誕生会
- 1月：新年こども会、年長青空教室、交通安全指導、避難訓練、1月生まれ誕生会、
豆まき
- 2月：小学校見学、ふれあい参観(お店屋さんごっこ・作品展)、2月生まれ誕生会、
年長卒園遠足(名古屋市科学館)、ひなまつりの集い
- 3月：3月生まれ誕生会、園児お別れ会

【稲葉保育園】

「よく遊ぶ元気な子」を育てるため、〈自然とふれあい、元気になる遊び〉に取り組みました。

主な行事

- 4月：入園式、サッカーボールで遊ぼう、内科検診、クラス写真撮影、歌遊び「わらべ歌」、誕生日会、
花で遊ぼう
- 5月：子どもの日を祝う会、歯科検診、へキサスロン遊び、サッカーボール遊び、緑のカーテン苗付、
花で遊ぼう、園外保育(イチジク畑)、誕生日会、田植え、災害訓練、防犯訓練
- 6月：保育参観(運動遊び、花遊び)、眼科検診、誕生日会、七夕制作、玉ネギ収穫、さつまいも苗付、
災害訓練、防犯訓練
- 7月：プール開き、サッカーボールで遊ぼう、七夕会、花で遊ぼう、誕生日会
- 8月：プール遊び、お楽しみ会(菊華紙芝居)、イルカショー(年長児)、夏の演奏会(西中吹奏楽部)
- 9月：粘土遊び、サッカーボールで遊ぼう、花で遊ぼう、ふれあい会、遊びの広場「見学会」
誕生日会「抹茶会」、園外保育「イチジク畑」
- 10月：内科検診、稲刈り、サッカーボールで遊ぼう、運動会、芋掘り、花で遊ぼう、粘土遊び、
誕生日会、修園遠足、災害訓練、防犯訓練
- 11月：焼き芋会・陶芸野焼き体験、保育参観(おにぎりパーティー)、サッカーボールで遊ぼう、
園外保育「菊華高校・ヒルズ」、花で遊ぼう、誕生日会、災害訓練、防犯訓練
- 12月：交通安全教室、歯磨き指導、花もち作り(年長児)、サッカーボールで遊ぼう、花で遊ぼう、
クリスマスマーケット、誕生日会、クリスマス会、園外保育(さんさん農園)、災害訓練
- 1月：凧作り凧揚げ、粘土遊び(年長児)、花で遊ぼう、サッカーボール遊び、陶芸遊び(年長親子)、
誕生日会、防犯訓練、避難訓練
- 2月：節分会(豆まき)、サッカーボールで遊ぼう、生活展、身体測定、、笹飾り「アグリの会」、
誕生日会、花で遊ぼう、防火指導「消防署」、防犯訓練、避難訓練
- 3月：ひな祭り会、サッカーボールで遊ぼう、身体計測、給食センター見学「年長児親子」、
誕生日会、花で遊ぼう、卒園式・修了式、防犯訓練、災害訓練

1. 平成 30 年度の主な契約

名古屋産業大学：

図書館システムサポートデスク延長契約、出欠情報取扱システム保守契約、
駐車場機器（カーゲート、発券機、読取機）保守契約、複写機リース契約、
広報用カーリース契約、ガスヒーポン保守契約、アイスクリーム自販機設置契約、
マイクロソフト・トレンドマイクロ（スクールアグリーメント）売買契約
大学案内パンフレット作成委託契約、図書館システム賃貸借契約、
新設学科用校舎増築設計監理及び工事請負契約、デュプロ印刷機保守契約、

名古屋経営短期大学：

ジョイサウンドワゴン一式売買契約、パンフレット制作業務委託契約、
愛知県雇用セーフティネット対策訓練（委託訓練）契約、カーリース契約

菊華高等学校：

学納金管理システム保守サービス契約、名鉄小幡駅学校案内広告物掲出契約、
学校案内パンフレット制作請負契約、本館 1 階職員トイレ改修工事請負契約、
スポーツロッカー売買契約、産業廃棄物処理委託変更契約、iPad 売買契約、
体育館耐震化改修工事及び追加工事請負契約、校用車カーリース契約、
第 1 情報処理室コンピュータ設備リース契約、本館 3 階廊下天井修繕請負契約

菊武幼稚園：

通園バス再リース契約、2 階テラス風除けカーテン設置工事請負契約

菊武ビジネス専門学校：

プリンター保守契約、プライマリ DC サーバー・ファイルサーバリース契約、
学校システム保守契約、5M 教室 PC・中間モニターリース契約、
1 号館耐震化設計監理契約及び 1 号館耐震化工事請負契約、

専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院：

カーリース契約、スライド扉冷蔵庫リース契約、自動販売機設置契約

Ⅲ. 財務の概要

1. 経年比較

当年度の決算について、前年度決算と比較しながら若干の説明を付してその概況をご報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位：千円)

科 目	29年度決算	30年度決算	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,740,013	1,713,654	△26,359	入学者数・在籍者数ともに前年度を大きく下回りましたが、学納金単価の高い部門の在籍者数が増えましたので、学納金の大幅な減少は免れました。
手数料収入	26,093	26,684	591	
寄付金収入	4,060	5,737	1,677	一般寄付が増加した分増加となりました。
補助金収入	638,737	638,869	132	
資産売却収入	210,002	200,001	△10,001	
付随事業・収益事業収入	9,405	13,664	4,259	在籍者減で国及び地公体の一般経常費補助金が減少しましたが、県の施設整備補助金があり、僅かながら増加となりました。
受取利息・配当金収入	8,283	8,731	448	
雑収入	28,311	46,470	18,159	県の介護人材確保事業による短大での職業訓練生の受入れが増え増加しました。
前受金収入	437,310	443,069	5,759	
その他の収入	308,879	253,914	△54,965	
資金収入調整勘定	△506,245	△513,083	△6,838	県の退職金財団に加入の永年勤務者の退職により多額の交付金が交付されたため増加となりました。
当年度資金収入合計	2,904,848	2,837,710	△67,138	
前年度繰越支払資金	1,266,878	1,245,179	△21,699	前期末未収入金収入(授業料軽減借入金償還補助金等)の減少が引当特定預金の取崩収入増を上回ったため減少。
収入の部合計	4,171,726	4,082,889	△88,837	

(資金支出の部)

(単位：千円)

科 目	29年度決算	30年度決算	差 異	
人件費支出	1,613,517	1,639,088	25,571	教員人件費増 18 百万円、職員人件費減 △10 百万円、退職金支出増 17 百万円で人件費支出増 25 百万円。
教育研究費支出	454,485	452,136	△2,349	
管理経費支出	201,522	218,616	17,094	経費節減に努力しましたが、70 周年事業に 17 百万円を使ったため増加。
借入金等利息支出	1,320	990	△330	
借入金等返済支出	56,456	43,212	△13,244	借入金等返済は、新規借入が無く、返済の進行で毎年度減少しています。
施設関係支出	46,180	198,725	152,545	
設備関係支出	32,744	37,710	4,966	
資産運用支出	400,726	290,063	△110,663	高校と専門学校で校舎耐震化工事を、大学で新設予定学科の専用教室を増築したので大幅に増加しました。
その他の支出	155,804	53,051	△102,753	
資金支出調整勘定	△36,209	△76,050	△39,841	2 号基本金を使って大型工事をする年度でしたので、新しい 2 号基本金への振替も多くはできず使った分だけ減少。
当年度資金支出合計	2,926,545	2,857,541	△69,004	
次年度繰越支払資金	1,245,179	1,225,348	△19,831	前期は退職者が少なく、前期末未払金となっていた退職金の支払いが少なくなり減少しました。
支出の部合計	4,171,724	4,082,889	△88,835	

(2) 活動区分資金収支計算書

		(単位 千円)	
科 目		金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金	1,713,654
		手数料収入	26,684
		特別寄付金収入	197
		一般寄付金収入	5,540
		経常費等補助金収入	610,862
		付随事業収入	13,664
		雑収入	45,577
		教育活動資金収入計	2,416,178
	支出	人件費支出	1,639,088
		教育研究費支出	452,136
		管理経費支出	218,616
		教育活動資金支出計	2,309,840
	差引	106,338	
	調整勘定等	39,440	
	教育活動資金収支差額	145,778	
施設設備活動	収入	施設設備補助金収入	28,007
		施設設備売却収入	1
		施設設備等活動資金収入計	28,008
	支出	施設関係支出	198,724
		設備関係支出	37,710
		施設設備等活動資金支出計	236,434
	差引	△ 208,426	
	調整勘定等	△ 15,434	
施設設備等活動資金収支差額	△ 223,860		
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)	△ 78,082		
その他の活動による資金収支	収入	有価証券 売却 収入	200,000
		受取利息・配当金収入	8,730
		過年度修正収入	893
		預り金受入収入	2,222
		高校耐震化引当特定預金より繰入収入	60,000
		菊専校地購入引当特定預金より繰入収入	130,000
		特別研究特定預金より繰入収入	63
		仮受金受入収入	42
		長期貸付金回収 収入	230
		その他の活動資金収入計	402,180
	支出	借入金等利息支出	990
		借入金等返済支出	43,212
		有価証券 購入 支出	200,000
		高校施設整備引当特定預金へ繰入支出	30,000
		菊専校地購入引当特定預金へ繰入支出	60,000
		特別研究特定資産繰入支出	63
		預り金支払支出	9,640
		立替金支払支出	25
その他の活動資金支出計	343,930		
差引	58,250		
その他の活動資金収支差額	58,250		
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 19,832		
前年度繰越支払資金	1,245,179		
翌年度繰越支払資金	1,225,347		

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

項 目	(単位 千円)			
	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設設備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受け金収入	443,069	443,069	0	0
— 授業料 前受金 収入	200,571	200,571	0	0
— 入学金 前受金 収入	144,811	144,811	0	0
— 施設充実費前受金収入	23,060	23,060	0	0
— その他の前受金 収入	74,627	74,627	0	0
前期末未収入金 収入	63,579	63,579	0	0
資金収入調整勘定	△ 513,084	△ 486,808	△ 26,276	0
期末 未収入金	△ 75,774	△ 49,498	△ 26,276	0
前期末 前受金	△ 437,310	△ 437,310	0	0
収 入 計	△ 6,436	19,840	△ 26,276	0
前期末未払金支払支出	31,482	31,482	0	0
前払金支払支出	1,991	1,991	0	0
期末長期未払金支払支出	12,135	0	12,135	0
資金支出調整勘定	△ 76,050	△ 53,073	△ 22,977	0
期末未払金	△ 51,962	△ 51,962	0	0
期末長期未払金	△ 22,977	0	△ 22,977	0
前期末 前払金	△ 1,110	△ 1,110	0	0
支 出 計	△ 30,442	△ 19,600	△ 10,842	0
収入計 - 支出計	24,006	39,440	△ 15,434	0

(3) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算について資金収支計算と重複する部分は省略し、資金収支計算で説明していない部分の説明を加えてその内容をご報告いたします。

(単位：千円)

		科 目	29 年度決算	30 年度決算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,740,013	1,713,654	△26,359	入学検定料、試験料は増加しましたが、証明手数料が減少しました。
		手数料	26,136	26,716	580	現物寄付が 155 千円減少しました。
		寄付金	5,294	6,815	1,521	
		経常費等補助金	637,012	610,862	△26,150	前年度あった私立大学等教育活性化設備整備費補助金がなくなり国庫補助金が 16 百万円の減、在籍者数の減少で地公体補助金が 10 百万円程の減となりました。
		付随事業収入	9,404	13,664	4,260	
		雑収入	28,039	45,822	17,783	
		教育活動収入 計	2,445,898	2,417,533	△28,365	
		事業活動支出の部	人件費	1,611,462	1,646,660	35,198
	（うち退職金関係）		(12,526)	(40,003)	(27,477)	
	教育研究経費		723,452	713,533	△9,919	私立大学等教育活性化設備整備資金による補助活動費支出分がなくなり経費節減と相まって奨学費増加分を吸収しトータルで減少。
	（うち減価償却費）		(268,921)	(261,252)	(△7,669)	
	管理経費		228,935	244,782	15,847	
	（うち減価償却費）		(27,758)	(26,121)	(△1,637)	学園創立 70 周年で周年記念事業費が大幅に増加し、幼稚園の通園バス経費を補助活動費に集約したため補助活動費が増加したため節減分が相殺され増加
	徴収不能額等		648	399	△249	
教育活動支出 計	2,564,497		2,605,374	40,877		
教育活動収支差額		△118,599	△187,841	△69,242		
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	8,283	8,731	448	低金利政策下安全・有利な資金運用は難しく、受取利息・配当金は、少ししか増えませんでした。
		教育活動外収入 計	8,283	8,731	448	
	支出の部	借入金等利息	1,320	990	△330	借入金が返済一方のため支払利息も減少一方です。
		教育活動支出 計	1,320	990	△330	
教育活動外収支差額		6,963	7,741	778		
経常収支差額		△111,636	△180,100	△68,464		
特別収支	収入の部	資産売却差額	2	1	△1	高校の体育館耐震改修工事に県の施設設備整備資金補助金が付き増加しました。
		その他の特別収入	3,103	29,206	26,103	
		特別収入 計	3,105	29,207	26,102	
	支出の部	資産処分差額	10,901	5,187	△5,714	高校の体育館改修工事で未償却部分の処分損と減価償却をしない図書処分損が発生しましたが、前年度より少なかったため資産償却差額が減少しました。
		その他の特別支出	494	0	△494	
		特別支出 計	11,395	5,187	△6,208	
特別収支差額		△8,290	24,020	32,310		
基本金組入前当年度収支差額		△119,926	△156,080	△36,154	固定資産投資は前年度より 1 億 6 千万ほど増加しましたが、2 号基本金からの振替と前年度より 76 百万多い資産除却があつて基本金組入額としては 82 百万の減少になりました。	
基本金組入額合計		△116,259	△33,919	82,340		
当年度収支差額		△236,185	△189,999	46,186		

(4) 貸借対照表

貸借対照表について、前年度からの増減の主なものの説明を付してご報告いたします。

科 目		29年度決算	30年度決算	差 異	
資	固定資産	12,838,693	12,683,542	△155,151	有形固定資産は大型投資があったものの除却額も大きく、新規取得額が（減価償却額+除却額）を上回らなかったため簿価減少。 高校の体育館耐震化工事と専門学校の耐震化工事の資金に2号基本金引当特定預金をつかったため減少しました。
	有形固定資産	10,746,128	10,691,267	△54,861	
	特定資産	2,070,063	1,970,063	△100,000	
	その他の固定資産	22,502	22,212	△290	
産	流動資産	1,334,098	1,327,235	△6,863	期末退職者に対する退職金財団交付金が未収入金となり未収入金が12百万増、現金預金が19百万の減。
	合 計	14,172,791	14,010,777	△162,014	

科 目		29年度決算	30年度決算	差 異	
負	固定負債	442,276	426,251	△16,025	長期借入金35百万の減、退職給与引当金8百万増、長期未払金11百万増
	流動負債	656,940	667,031	10,091	
	計	1,099,216	1,093,282	△5,934	短期借入金9百万減、未払金が20百万増、前受金6百万増、預り金7百万増減で合計10百万ほど増加しました。
	基本金	17,997,524	18,031,444	33,920	
	事業活動収支差額の部合計	△4,923,949	△5,113,949	△190,000	1号基本金133百万増、2号基本金100百万減、4号基本金1百万増。
	合 計	14,172,791	14,010,777	△162,014	

(参考)

正 味 資 産	13,073,575	12,917,495	△156,080
---------	------------	------------	----------

※ 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋事業活動収支差額）

減価償却額の累計額	7,231,647	7,400,152	168,505
-----------	-----------	-----------	---------

1. 借入金の状況

当学園の借入金は下表のとおりです。22年度より愛知県私学振興事業財団から授業料軽減のための新規の借入をすることがなくなり、授業料軽減借入金は毎年減少していきませんが、菊華高校で授業料軽減借入金として¥4,439,079の借入残を有しております。しかし、この授業料軽減借入金は、償還に要する財源を愛知県から授業料軽減借入金償還補助金及び施設設備整備費借入金償還補助金として全額補填を受けることになっていきますので学園としての返済負担は発生しないものです。

(借入金明細表)

(単位：千円)

借 入 先	29年度末残高	30年度末残高	増 減	摘 要
日本私立学校振興・共済事業団	90,000	60,000	△30,000	キクタスポーツビルズ取得資金
愛知県私学振興事業財団	17,652	4,439	△13,213	愛知県より全額補填あり
合 計	107,652	64,439	△43,213	

2. 学校債の状況

当学園は、学校債を発行いたしておりません。

3. 寄付金の状況

当学園に対する寄付金は29年度6,196千円でありましたが30年度は7,121千円でした。現物寄付は前年度より減少しましたが、一般寄付金が増加しました。

IV. 決算期後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

該当する事実はありません。

V. 対処すべき課題

「年々厳しくなる学生・生徒・園児募集にどれだけ成果を挙げられるか？」言い換えれば「各部門が収入を安定的に確保し自立すること」が対処すべき最優先課題であることに変わりありません。特に大学の現代ビジネス学部に経営専門職学科を新設する認可をとる事とそれを大学の入学定員充足の起爆剤にしていくことが喫緊の課題です。